

Planning and CoordinationMACHINE TIME EXECUTIONREPORT (2002-3-1 CYCLE)

Experimental Group	E471	Reporter	M. Iwasaki
Scheduled Period and Shift	9/7 - 9/25 45 shifts	Main, Sub, Para	Sub
Experimenters			
<p>SUMMARY OF EXECUTION AND RESULTS</p> <p>実験エリア・コンテナの受け渡し以降，ビーム以前に総ての実験準備を完了すべく準備を進めていたが，残念ながらバーテックスドリフトチェンバーの配線など一部が完全には終了しなかった。</p> <p>ビームを出来るだけ有効活用するため，積み残しの準備作業とビームライン調整を平行しつつ行った．単位質量当たりのK中間子静止収量を上げるため，くさび形減速材を挿入したことと，5月のテストビームより運動量をあげ600 MeV/cで運転することにしたので，レンジスタックを利用しつつビーム最適値を再調整した。</p> <p>検出器の数量が多いので，ビームを使ったゲイン・タイミングの微調整．ハードウェアトリガーの構築など実験装置全体のシェイクダウンにもおよそ1週間を用いた。その後、定常実験を12シフト行った。</p>			
<p>EXECUTED MACHINE TIME, BEAM CONDITION, DOWN TIME etc.</p> <p>ビームライン調整／実験装置全体のシェイクダウンにおよそ33 shifts を用いた。</p>			
COMMENTS			